



環境かわら版

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo-c/0000007029.html>

令和2年7月号（第290号）

特集1

2019年度公共用水域及び地下水の水質調査結果

特集2

2019年度大気汚染調査結果

特集3

化学物質の環境への排出量等（2018年度分）



「夏休み環境学習講座」を開催します！（P5）

ストップ！温暖化
夏休み！**おうちエコアップ大作戦**



「夏休み！おうちでエコアップ大作戦」を実施します（P6）



「クビアカツヤカミキリ」にご注意ください！（P4）



エコアクションを
はじめよう！つづけよう！つなげよう！

<http://aichi-eco.com>



水質汚濁防止法第16条第1項の規定により作成した「2019年度公共用水域及び地下水の水質測定計画」に基づき、愛知県と関係機関が行った県内の水質調査結果の概要は次のとおりです。詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/mizutaiki/2019suishitsu-taiki.html>)



1 公共用水域の水質調査結果

(1) 健康項目

河川、湖沼、海域の139地点で調査した結果、138地点では全ての項目で環境基準を達成しましたが、1地点で1,2-ジクロロエタンが環境基準を達成しませんでした(2018年度も同地点同項目で非達成)。

(2) 生活環境項目

河川の有機汚濁の代表的な指標である生物化学的酸素要求量(BOD)、湖沼及び海域の有機汚濁の代表的な指標である化学的酸素要求量(COD)、海域の富栄養化の代表的な指標である全窒素及び全リン、水生生物の保全に係る環境基準項目である全亜鉛、ノニルフェノール、直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(LAS)の調査結果について、環境基準の達成率を下表にとりまとめました。

達成率の長期的な推移としては、河川のBOD、海域の全窒素及び全リンについては改善傾向にあり、海域のCODについては概ね横ばいで、湖沼のCODについては未だ達成していません。

【環境基準(生活環境項目)の達成水域数及び達成率】

	調査項目	類型指定 水域数	環境基準 達成水域数*3	環境基準 達成率*3	
河川	BOD	49*1	46(48)	94%(98%)	
	水生生物保全 環境基準	全亜鉛	38(37)	90%(88%)	
		ノニルフェノール	42*1	42(42)	100%(100%)
		LAS	42(41)	100%(98%)	
湖沼	COD	1	0(0)	0%(0%)	
	水生生物保全 環境基準	全亜鉛	1(1)	100%(100%)	
		ノニルフェノール	1	1(1)	100%(100%)
		LAS	1(1)	100%(100%)	
海域	COD	11*2	5(6)	45%(55%)	
	全窒素	6*2	5(5)	83%(83%)	
	全リン		6(6)	100%(100%)	
	水生生物保全 環境基準	全亜鉛	4*2	4(4)	100%(100%)
		ノニルフェノール	4(4)	100%(100%)	
		LAS	4(4)	100%(100%)	

*1 調査項目により数は異なりますが、対象河川は同一です。

*2 COD、全窒素及び全リンについては伊勢湾と三河湾を対象とし、水生生物保全環境基準については伊勢湾のみを対象とし、三河湾は対象外です。

*3 ()内は2018年度の状況です。

2 地下水の水質調査結果

(1) 概況調査

県内の全体的な地下水質の概況を把握するため、メッシュ調査*94地点、定点調査19地点の計113地点で調査を行いました。その結果、メッシュ調査6地点、定点調査4地点の計10地点で環境基準を超過した項目がありました。新たに環境基準の超過が判明したメッシュ調査の6地点については、井戸所有者に対する飲用指導を実施しました。

* 県内を約5km(三河山間部は約10km)のメッシュに区分して行う調査。

(2) 定期モニタリング(継続監視)調査

過去の概況調査、事業者からの報告等で地下水汚染が判明した地域の継続的な監視を行うため、161地点275本の井戸で調査を実施しました。その結果、89地点110本の井戸で環境基準を超過しました。

(3) 汚染井戸周辺地区調査

概況調査、事業者からの報告等により判明した地下水汚染の汚染範囲等を確認するため、19地点69本の井戸で調査を行った結果、5地点9本の井戸で環境基準を超過しました。

【環境基準の超過地点数】

調査区分		調査地点数	環境基準 超過地点数
概況調査	メッシュ調査	94(94)	6(6)
	定点調査	19(19)	4(4)
定期モニタリング調査		161(275)	89(110)
汚染井戸周辺地区調査		19(69)	5(9)

()内は井戸の本数を示す。

3 今後の対応

引き続き調査を行い、環境基準の達成状況を把握するとともに、水質汚濁防止法、県民の生活環境の保全等に関する条例等に基づき、事業者に対する指導、生活排水対策等を総合的に推進し、環境基準の達成・維持に努めていきます。

水大気環境課 調整・計画グループ
電話 052-954-6221 (ダイヤルイン)
水・土壌規制グループ
電話 052-954-6225 (ダイヤルイン)

大気汚染防止法第22条に基づき、愛知県は、名古屋市、豊橋市、岡崎市及び豊田市とともに、大気汚染調査（二酸化硫黄等による大気汚染状況の常時監視及びベンゼン等の有害大気汚染物質のモニタリング）を行っています。

2019年度の調査結果の概要は次のとおりです。詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/mizutaiki/2019suishitsu-taiki.html>)



1 大気汚染常時監視結果

二酸化硫黄、二酸化窒素、一酸化炭素、浮遊粒子状物質及び微小粒子状物質（PM2.5）については全ての測定局で環境基準を達成しました。光化学オキシダントは全ての測定局で環境基準を達成しませんでした。

環境基準の達成状況

項目	二酸化硫黄		二酸化窒素	
	一般局	自排局	一般局	自排局
有効測定局数	20	3	62	22
達成測定局数	20	3	62	22
環境基準達成率	100%	100%	100%	100%

項目	一酸化炭素		浮遊粒子状物質	
	一般局	自排局	一般局	自排局
有効測定局数	2	7	63	22
達成測定局数	2	7	63	22
環境基準達成率	100%	100%	100%	100%

項目	光化学オキシダント		微小粒子状物質	
	一般局	自排局	一般局	自排局
有効測定局数	62	11	41	15
達成測定局数	0	0	41	15
環境基準達成率	0%	0%	100%	100%

*1 一般局は一般環境大気測定局のことで、自排局は自動車排出ガス測定局のことで。

*2 環境基準達成率は、「(達成測定局数/有効測定局数)×100(%)」で示しています。

2 有害大気汚染物質等モニタリング結果

環境基準または指針値が定められているベンゼンなどの13物質については、全ての測定地点で環境基準等を達成しました。

(1) 環境基準が定められている4物質

対象物質	測定地点数	達成地点数	環境基準達成率
ベンゼン	19	19	100%
トリクロロエチレン	18	18	100%
テトラクロロエチレン	18	18	100%
ジクロロメタン	18	18	100%

(2) 指針値が定められている9物質

対象物質	測定地点数	達成地点数	指針値達成率
アクリロニトリル	18	18	100%
塩化ビニルモノマー	18	18	100%
水銀及びその化合物	15	15	100%
ニッケル化合物	15	15	100%
クロロホルム	18	18	100%
1,2-ジクロロエタン	18	18	100%
1,3-ブタジエン	19	19	100%
ヒ素及びその化合物	15	15	100%
マンガン及びその化合物	15	15	100%

3 今後の対応

引き続き常時監視やモニタリングを行い、環境基準等の達成状況を把握するとともに、大気汚染防止法、県民の生活環境の保全等に関する条例、自動車NOx・PM法、愛知県NOx・PM総合対策推進要綱、あいち自動車環境戦略2020等に基づき、各種大気汚染防止対策を総合的に推進し、環境基準等の達成・維持に努めていきます。

〔 水大気環境課 大気調査グループ
電話 052-954-6216 (ダイヤルイン) 〕

「化学物質の環境への排出量等」(2018年度分) についてお知らせします



「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」及び「県民の生活環境の保全等に関する条例」に基づく、事業者からの届出と国の推計結果から、2018年度の愛知県内における化学物質の環境への排出量等について取りまとめました。その概要は、次のとおりです。

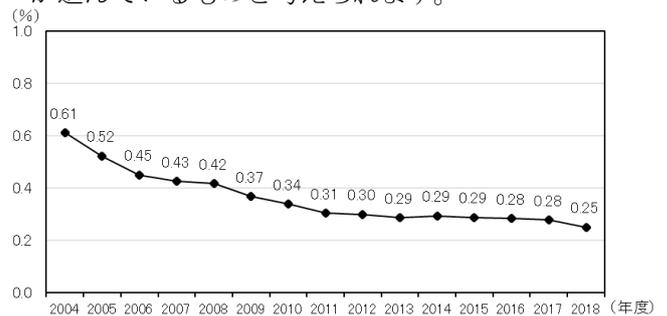
- 2018年度の県内排出量等を2017年度と比較すると、届出取扱量は6.1%増加し、届出排出量、全排出量はそれぞれ4.4%、5.8%減少しました。

県内排出量等 (2018年度と2017年度との比較)

	届出 事業所数	届出取扱量 (トン/年)	届出排出量 (トン/年)	全排出量 (トン/年)
2018年度	1,933 件	3,959,878	9,956	22,106
2017年度	1,970 件	3,731,304	10,418	23,457
増減	△ 37 件	6.1%	△ 4.4%	△ 5.8%

届出取扱量: 事業者が自ら把握した、化学物質を製造又は使用した量
届出排出量: 事業者が自ら把握した、環境中に排出された化学物質の量
全排出量: 届出排出量と届出外排出量(届出対象外の事業者、家庭、自動車等からの推計排出量)の合計

- 2018年度の全排出量について、集計を開始した2001年度と比較すると、66.6%減少しました。
- 届出取扱量に対する届出排出量の割合の経年変化を見ると、届出取扱量の集計を開始した2004年度の0.61%から、2018年度の0.25%へ年々低下していることから、事業者の排出抑制の取組が進んでいるものと考えられます。



届出取扱量に対する届出排出量の割合の経年変化

環境活動推進課 環境リスク対策グループ
電話 052-954-6212 (ダイヤルイン)

「クビアカツヤカミキリ」にご注意ください!



愛知県では、外来種のクビアカツヤカミキリが2012年に発見されてから、生息範囲が拡大し、現在では海部地域と名古屋市の各一部で確認されています。

クビアカツヤカミキリは、体長2~4cmの黒いカミキリムシで、胸の部分が赤いことが特徴です。サクラ、ウメ、モモなど主にバラ科の樹木に発生し、枯死させます。この外来種は「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」により特定外来生物に指定され、飼養、保管、運搬、野外への放出等が原則禁止されています。

6月から8月に多く発生するクビアカツヤカミキリの成虫を見つけたら、被害拡大防止のため、殺虫剤などで駆除をお願いします。また、サクラ、ウメ、モモなどの樹木から、細長い鉛筆のような形のフラス(木くず、糞の混合物)が出ていると、樹木の中にクビアカツヤカミキリの幼虫がいる可能性があります。

ますので、市町村担当課または県自然環境課に連絡をお願いします。

被害木を放置すると成虫が拡散するだけでなく、倒木の恐れがあるため、速やかに伐採を行う必要があります。それが難しい場合は、応急措置として、ネット等を樹幹に巻き付けると、成虫が外に拡散するのを防ぐことができます。



(雄)

(雌)

クビアカツヤカミキリ

(戸田尚希氏撮影)

詳細は Web ページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/shizen/kubiaka202003.html>)



自然環境課 野生生物・鳥獣グループ
電話 052-954-6230 (ダイヤルイン)



「夏休み環境学習講座」を開催します！



愛知県では、体験しながら環境について楽しく知ることができる「夏休み環境学習講座」を開催します。参加費は無料です。ぜひご参加ください。

1 開催日時

(1) あいち環境学習プラザ（名古屋市北区）で開催

8月1日（土）、3日（月）、6日（木）、7日（金）、
8日（土）、11日（火）、12日（水）、13日（木）

(2) もりの^{まじりや}学舎（長久手市）で開催

8月5日（水）、10日（月・祝）、18日（火）

※各日、2回（10:00～12:00 及び 13:30～15:30）開催します。

※講座の内容は、右記 Web ページをご覧ください。

※講座は、天候等により内容変更や中止になることがあります。



2 対象及び定員

小学生以上（一部の講座は小学4年生以上）

※原則、小学生は保護者同伴

定員 各回 10名（保護者を含む。）

3 申込期間

6月30日（火）から7月21日（火）まで

※申込多数の場合は抽選により決定します。

4 申込先・問合せ先

あいち環境学習プラザ

〒462-0032 名古屋市北区辻町字流 7-6

電話：052-908-5150 FAX：052-916-0516

Eメール：kankyo-c@pref.aichi.lg.jp

詳細は Web ページをご覧ください。

(<http://kankyo.joho.pref.aichi.jp/plaza/>)

環境調査センター 企画情報部

あいち環境学習プラザ

電話 052-908-5150（ダイヤルイン）



「水質パトロール隊」を募集しています！



川や海の汚れの大きな原因の一つは、家庭から出される生活排水となっています。

愛知県では、小中学生の皆さんに、身近な川の水質などを調査しながら、生活排水に関することや川・海の環境を守るためにできることを考えていただくため、「水質パトロール隊」として活動していただくグループを募集しています。

1 募集対象

県内にお住まいの小中学生を中心としたグループ（ご家族、学校、近所のお友達同士など、メンバーや人数等は問いませんが、連絡調整や安全管理のため、大人の方1名を代表者としてご登録ください。）

2 募集期間

6月17日（水）から9月30日（水）まで

3 活動内容

・県から送付される調査マニュアルや水質検査キッ

トを使用し、川の水質調査や水辺の生きものの観察、生活排水についての考察などを実施

・調査の結果や気が付いたことなどをレポートにまとめ、12月28日（月）までに提出

4 その他

ご提出いただいたレポートは、県の Web ページに掲載し、優秀な取組を行ったグループについては、表彰を行います。

詳細は Web ページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/mizutaiki/mizupato2020.html>)



皆様のご参加、
待ってま〜す！



水質パトロール隊 PR キャラクター かっぱとくん

水大気環境課生活環境地盤対策室

三河湾環境再生グループ

電話 052-954-6220（ダイヤルイン）

「夏休み！おうちでエコアップ大作戦」を実施します



愛知県では、地球温暖化防止に向けた「賢い選択（クールチョイス）」を促す「あいち COOL CHOICE」県民運動を推進しています。

今年度からの新たな取組として、小学生とその家族による「夏休み！おうちでエコアップ大作戦」を実施します。

家族と一緒に過ごす時間が長い夏休み期間に、家族みんなで協力して、省エネなどのエコアップ行動に1週間取り組んでいただくプロジェクトです。



個人でも学校単位でもご参加いただけます。参加児童には参加賞のほか、エコアップ行動の達成で、県認定「エコ家族認定証」が贈られます。ご家族で、ぜひチャレンジしてみてください。

1 参加方法（個人でご参加いただく場合）

特設 Web サイトからエコアップブックをダウンロードしていただき、実践したエコアップ行動をチェックシートに記録します。記録したチェックシートを下記までお送りください。

（学校で取り組む場合は先生にお渡しください。）

2 提出先・問合せ先（提出期限：9月12日（土））

愛知県地球温暖化防止活動推進センター

〒461-0005

名古屋市中区東桜 2-4-1 第3 コジマビル 4階

電話：052-934-7295

詳細は Web ページをご覧ください。

夏休みエコアップ大作戦

<https://www.accca.net/ecoup.html>



地球温暖化対策課 調整・企画グループ
電話 052-954-6213（ダイヤルイン）

「自動車エコ事業所」を募集しています



愛知県では、エコカーの導入や公共交通機関の利用促進などの取組を積極的に実践し、「安心・快適な暮らしを支え、環境と自動車利用が調和した社会」の実現に大きく貢献している事業所を「自動車エコ事業所」として認定しています。

認定事業所には、認定証や表示板の交付とともに、県の Web ページに、環境へ配慮した事業所として紹介しますので、積極的にご応募ください。

1 対象

県内の事業所（個人事業者を含む。）

2 認定方法

応募事業所のエコカーの導入や公共交通機関の利用促進等の取組状況について、あいち自動車環境戦略会議で審査し、認定基準を満たしている場合に同会議議長（愛知県知事）が認定します。

3 募集期間

7月1日（水）から9月30日（水）まで

4 応募方法

所定の申請書（下記 Web ページからダウンロード可）及び取組内容を証する書類を、持参又は郵送によりご提出ください。

詳細は Web ページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/ondanka/2020ecojigyousyo.html>)



5 その他

「自動車エコ事業所」の認定を受けると、本県が行う公契約において、社会的価値の実現に資する取組の一つとして評価される場合があります。

地球温暖化対策課 自動車環境グループ
電話 052-954-6217（ダイヤルイン）

「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」の 研究員を募集しています



愛知県では、持続可能な未来のあいちの担い手を育成する「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」の活動を、2015年度から実施しています。

この研究所では、大学生（短大生、大学院生を含む。）が研究員となり、パートナー企業から提示された環境課題を調査・研究し、その解決策を提案するとともに、研究成果を発信します。この度、第6期生として参加いただける大学生を40名募集します。

1 募集期間

6月25日（木）から7月13日（月）まで

2 応募資格

県内に在住又は県内の大学に在籍する大学生

※ 原則、全プログラム日程に参加できる方

3 応募方法

公式ブログ (<http://sustaina-ken.jugem.jp/>) からエントリーシートをダウンロードし、必要事項

項を記入の上、Eメール、FAX、郵送のいずれかでお申し込みください。

4 申込先・問合せ先

公式ブログ QRコード



かがやけ☆あいちサスティナ研究所事務局
〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-16-29 4階
((株)新東通信 社内)

電話:052-971-6233 FAX:052-962-3256

Eメール:kankyo@shintou-tsushin.co.jp

○ パートナー企業10社

- ・(株)サーラコーポレーション ・中京テレビ放送(株)
- ・中部テレコミュニケーション(株) ・東レ(株)
- ・東京海上日動火災保険(株) ・凸版印刷(株)
- ・三井不動産商業マネジメント(株)ららぽーと名古屋みなとアクルス
- ・日本ガイシ(株) ・(株)メニコン ・吉本興業(株)

環境政策課 企画・広報グループ
電話 052-954-6210 (ダイヤルイン)

高濃度PCB廃棄物の処分期限が迫っています



PCB（ポリ塩化ビフェニル）が使用された代表的な電気機器には、変圧器やコンデンサー、安定器があります。愛知県内の事業場で保管されているものについては、「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」等で定められた右表の期限までに、使用を終えて、処分を委託しなければなりません。

とりわけ、高濃度PCBが使用された廃棄物（安定器・汚染物等）の処分期限は、2021年3月と

なっており、残り1年を切っています。これを過ぎると、中間貯蔵

・環境安全事業株式会社（通称：JESCO（ジェスコ））の処分施設が撤去され、事実上、処分



安定器

することができなくなります。高濃度PCB廃棄物を保管している方は、速やかにJESCOに処分を委託してください。

PCB廃棄物の処分期限（愛知県）

PCB廃棄物の種類	処分施設	処分期限
高濃度PCB廃棄物 (安定器・汚染物等)	JESCO北九州PCB処理事業所	2021年3月
高濃度PCB廃棄物 (変圧器及びコンデンサー等)	JESCO豊田PCB処理事業所	2022年3月
低濃度PCB廃棄物	無害化認定施設*等	2027年3月

*無害化認定施設：低濃度PCB廃棄物を処分する施設として環境省が認定した施設

資源循環推進課 廃棄物監視指導室
指導グループ
電話 052-954-6237 (ダイヤルイン)

環境保全関係功労者を表彰しました



愛知県では、県民の環境保全意識を高め、快適な生活環境を保つことを目的として、県内の環境の保全に関し顕著な功績のあった団体・個人に対して、毎年度、知事による表彰を行い、その功績をたたえています。

本年度は、1団体及び39名の受賞者を決定し、受賞者へ県産間伐材製の表彰状等をお渡ししました。

なお、例年、表彰式を開催しておりましたが、本年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、表彰式は執り行わないこととしました。



県産間伐材の表彰状

表彰の区分と受賞者一覧（五十音順・敬称略）

環境保全活動功労	(1 団体・1 名)
長年にわたり環境保全活動の推進に尽力	
○琴平ふくろう谷の会（豊田市）	
○宮嶋 英一（みよし市）	
環境保全推進功労	(33 名)
長年にわたり愛知県の環境保全行政の推進に寄与	
あいち生物多様性戦略 2020 推進委員会等委員（7 名）	
○稲垣 隆司（豊橋市）	
○中越 信和（広島県安芸郡）	
○中静 透（宮城県仙台市）	
○間野 隆裕（あま市）	
○山田 耕作（三重県伊勢市）	
○山本 進一（東京都小金井市）	
○浦井 史郎（東京都渋谷区）	

地球温暖化防止活動推進員 (5名)

- 相原 陽子（岩倉市）
- 説田 育正（岡崎市）
- 時田 篤子（岩倉市）
- 則竹 佳子（一宮市）
- 牧原 鉄男（蒲郡市）

鳥獣保護管理員 (4名)

- 千賀 洋二（知多郡美浜町）
- 田中 紹元（新城市）
- 丸山 泰裕（犬山市）
- 村松 和憲（北設楽郡設楽町）

地域環境保全委員 (17名)

- 伊藤 健司（清須市）
- 岡田 三枝子（名古屋市瑞穂区）
- 小椋 克好（新城市）
- 川口 正秀（名古屋市熱田区）
- 久野 啓子（大府市）
- 櫻井 照久（丹羽郡扶桑町）
- 杉江 不二子（名古屋市中区）
- 鈴木 國和（西尾市）
- 高田 茂（碧南市）
- 高橋 賢一（尾張旭市）
- 永田 俊治（稲沢市）
- 長谷川 豊（江南市）
- 原 哲士（北設楽郡東栄町）
- 松浦 治（小牧市）
- 山本 敏夫（北設楽郡東栄町）
- 山本 勝（知多郡南知多町）
- 横田 泰守（一宮市）

環境保全行政従事功労 (2名)

- 長年にわたり環境保全行政に従事
- 村松 久志（豊川市）
- 山本 訓久（豊橋市）

環境衛生事業功労 (3名)

- 長年にわたり環境衛生事業の推進に尽力
- 大野 哲（愛知県環境測定分析協会）
- 小山 一大（愛知県衛生事業協同組合）
- 樋口 隆（愛知県衛生事業協同組合）

1 団体・39 名

〔 環境活動推進課 環境学習グループ 電話 052-954-6208（ダイヤルイン） 〕

名古屋地方気象台によると、7月の東海地方の気温は平年並みか高くなる予報となっています。今月号では、暑い夏を乗り切るための暑熱対策についてお伝えします。

1 「新しい生活様式」に準じた熱中症対策

今夏は新型コロナウイルスの影響により、これまでとは異なる生活スタイルとなることから、例年以上に熱中症に気を付けることが重要です。対策の一例として、「高温や多湿といった環境下においては、屋外で人と十分な距離(2m以上)が確保できる場合はマスクを外す」などが挙げられます。対策方法は環境省のWebページにまとめられているので、確認して対策を講じましょう。

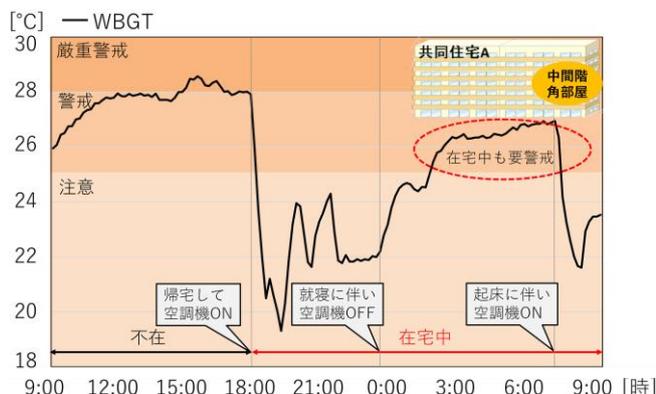
(https://www.wbgt.env.go.jp/heatillness_pr.php)



2 集合住宅における熱中症対策

愛知県は集合住宅の割合が5割弱となっています。また、一般的に集合住宅は鉄筋コンクリート造(RC造)が多く、RC造は熱容量が大きく、蓄熱する特徴があります。RC造の集合住宅における暑さ指数

(WBGT)の時間変化を計測した結果を見ると、夜間、冷房を切った後にWBGTが警戒レベルまで上昇していることがわかります。これは、日中に躯体等に蓄えられた熱が夜間に放熱されたためと考えられます。



川久保俊、工藤泰子、林宏典、松井加奈絵、吉田功樹、RC造共同住宅における夜間熱中症被害の発症抑制に向けた屋内温熱環境の実態把握、2018年度第13回ヒートアイランド学会全国大会(A-47)、2018.7 資料を一部加工

RC造共同住宅角部屋におけるWBGTの推移 (2017年8月 東京都墨田区で観測)

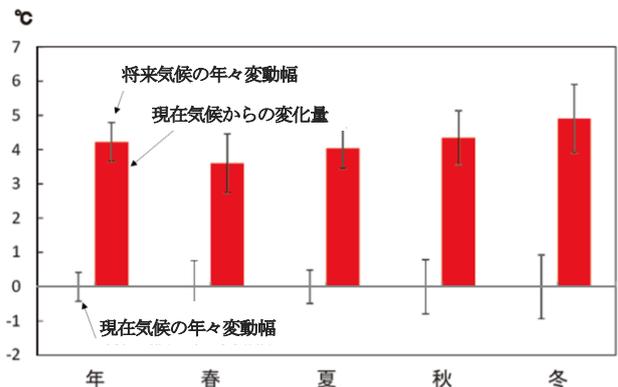
就寝中は室温変化に気付きにくいいため、知らない間に熱中症になる可能性があります。冷房の自動運転を活用するなどの対策が必要です。

3 新しい熱中症警戒情報の導入

環境省と気象庁は、暑熱に関する警戒情報として、7月から関東甲信地方で「熱中症警戒アラート(試行)」の発信を開始します。これは従来の「高温注意情報」に代わり、湿度等も考慮したWBGTを基に発表するものです。今年度の実施内容を踏まえ、来年度からは全国で運用される見込みです。

4 エアコンの買い換え(緩和策)

名古屋地方気象台が発表している将来予測では、最も温暖化が進行した場合、約100年後の県の年平均気温が現在と比べて約4°C上昇すると予測されています。熱中症対策を行うとともに、こうした気温の上昇を抑制する緩和策も進めていくことが重要です。



出典:「愛知県の21世紀末の気候」(名古屋地方気象台)を一部加工

愛知県の平均気温の将来気候における変化

熱中症対策として重要な役割を担っているエアコンは、省エネの技術がどんどん向上しています。10年前の製品(冷房能力2.8kW)から今の省エネ製品に買い換えた場合、年間で89kgのCO₂が削減できます。また、電気代も年間で4,700円の節約になりますので、買い換えを検討してみてはいかがでしょうか。

環境調査センター 企画情報部
愛知県気候変動適応センター
電話 052-910-5489 (ダイヤルイン)



高校生が専門家等の支援を受けながら、地域の環境問題について調査・研究を行い、その結果を基に環境学習教材を作成する「あいちの未来クリエイト部」の活動が2017年度から行われています。6月号から3回にわたり、昨年度参加した3グループが作成した教材を紹介します。

2回目となる今回は、「愛知教育大学附属高等学校 自然科学部」の皆さんが作成した教材を紹介します。

愛知教育大学附属高等学校 自然科学部の皆さんは、近くの小堤西池こづつみにしいけに自生する国指定天然記念物のカキツバタをテーマに、校内生徒のカキツバタの認知度を測るアンケートや、花の構造観察、小堤西池周辺の動植物調査、保全活動についての聞き取り調査を行い、2つの教材を作成しました。

1つめの教材は、地域の人々にカキツバタについてもっと知ってもらいたいと考えて作成した「カキツバタの花をつくってみよう」です。この教材では、花の模型を作ることで、楽しみながら花の構造や特徴を知り、植物を大切にすることを育むことができま



カキツバタの花をつくってみよう

す。

2つめの教材は、小堤西池の生態系について知ってもらい、カキツバタ保全活動の輪を広げたいと考えて作成した「カキツバタクエスト」です。この教材では、すごろくを進めていく中で、人間の活動や自然災害等がカキツバタをとりまく生き物に与える影響を知り、自然が様々な生き物のバランスにより成り立っていることを体感できます。

これらの教材を用いることで、カキツバタについての理解を深め、地域の自然環境について楽しく学ぶことができます。



カキツバタクエストで楽しく学ぶ様子

あいちの未来クリエイト部では他にも様々な教材を作成しています。教材は、全て貸出しを行っていますので、ぜひご活用ください。教材の内容や貸出方法の詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyokatsudo/program.html>)



環境活動推進課 環境学習グループ
電話 052-954-6208 (ダイヤルイン)

愛知県環境情報紙「環境かわら版」
令和2年7月6日発行(第290号)
編集・発行 愛知県環境調査センター
企画情報部
〒462-0032 名古屋市北区辻町字流7-6
電話 052-908-5112(ダイヤルイン)

編集後記

新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言は解除されましたが、マスク着用などの感染防止対策は引き続き必要です。一方、暑い季節のマスク着用は、熱がこもりやすく、熱中症のリスクが高まり危険です。屋外では人との間隔を十分にとったうえでマスクを外し、こまめな水分、塩分補給を心がけるなど、いつも以上に熱中症対策を行いましょう。

(企画・編集チーム)

※ この環境かわら版は、環境局Webページ「あいちの環境」<https://www.pref.aichi.jp/kankyo/>でも発信しており、今月号及びバックナンバーをカラーでご覧いただけます。ページは右のQRコードからアクセスできます。

この記事は広報紙等へ再掲していただきますようお願いいたします。

